

## 資料1 ふるさと教育支援事業

### 「キャリア教育×探究型学習」の開発

#### 生徒対象：『県内企業説明会』

3年間（R2～R4）で12校実施

- 職業に対する理解を深める
  - 県内企業の魅力を知る**
  - 地元企業で働く人の思いを知る
  - ふるさと長崎への思いを育てる
  - 探究型学習のテーマ設定の一助とする
- ✓高校生のうちに地元企業を知ることにより、地元への定着やUターンを促進
- ✓自己の生き方と社会や世界との関わり方を見出す
- ✓言語・情報活用・問題発見・課題解決能力を育成

#### 未来の創り手育成

生徒

教員

#### 教員対象：『県内企業訪問』

- ふるさと教育に対する理解を深める
  - 県内企業の魅力を知る**
  - 教員の意識を改善する
- ✓ふるさと教育の中核的な役割を担う教員の育成
- ✓就職まで見据えた進路指導力の向上
- ✓探究型学習のスキルやカリキュラム作成能力の向上

#### 連携・協働

産業界

高等学校

自治体

大学等

進学希望者の多い普通科高校への普及

### ふるさとの未来を担う高校生育成事業

【令和3年度までに全県立学校が「実施計画書」・「体系図」を作成】

3年間（H30～R2）で18校を指定（毎年度6校）：各校独自の「ふるさと教育」を確立→他校への展開

●地域課題の解決策の提案や地域の魅力発信

**地域との協働による活動**

●地元企業との協働によるイベントの企画・運営

## 資料2 ながさき未来デザイン高校生SDGs推進事業

### 【事業概要】

- ① 中学校で地元の「よかとこ」を学んだ生徒が他の地域を知り、県下の課題解決や魅力化等に取り組み、**起業家精神を育む場を創出**。  
 ② これまで培ったふるさと教育の素地のもと、アイデアコンテストやオンライン配信を通じて、**他校と取組を共有**することで、事例の蓄積や外部人材とのつながりを充実させ、生徒の**主体的な課題解決に向けた取組を活性化**させる。

### 高校生アントレプレナーシップゼミ

【対象】 県立高校の希望生徒 20名

- 集合研修を実施するとともに、県下の高校生のネットワークをつくり、地域リーダーを育成
- 地域課題解決や地域魅力化のための活動を高校生自ら計画し実行
- 専門家や起業家、大学生との交流
- 全国的なコンテスト等へ参加



- ◆ 自分で未来をつくる方法を知る機会を創出
- ◆ 各学校の取組成果を県全体へ普及
- ◆ SDGsの視点からの課題発見・解決能力の育成
- ◆ 教師主導から生徒自らが創り上げる探究学習への転換
- ◆ 生徒一人ひとりの進路学習との連動性の向上



### 長崎を元気にするアイデアコンテスト

【対象】 県立高校の希望チーム 20チーム

- 研究活動費を支給（募集・審査のうえ20校へ）
- アイデア発表ビデオを募る（SDGsのゴールのいずれかに関連させた内容のもので、上記20校+aから）
- 優秀作(10本)をオンラインで各校に配信し、全県立高校生によるネット投票等により優秀プランを選定
- 外部人材によるSDGsに係る基調講演



1人1台端末の活用

- ・オンライン講座
- ・探究活動
- ・ネット投票
- ・学校間のテレビ会議



**SDGsの視点から地域の課題を発見・解決し、主体的に行動することのできる地域リーダーの育成及び長崎の未来をデザインする起業家精神を持つ人材を育成する**

## 資料3 普通科改革に関する事例：地域社会に関する学科の設置（長崎県立松浦高等学校 地域科学科）

### 地域科学科（新学科）の概要

地域や社会の未来を担うリーダーの育成を図るために、高等学校が立地する地元自治体を中心とする地域社会から得られる様々な分野の知見を学ぶことにより教養を深め、**現在及び未来の地域社会が有する課題や魅力に着目した科学的・実践的な学び**に重点的に取り組む学科を導入

<現状> 普通科2学級、商業科1学級      <改編後> **地域科学科2学級**、商業科1学級（令和4年度導入）

### 地域科学科におけるカリキュラムイメージ

#### 地域を科学し、未来を拓く教養を身に付けるプログラム

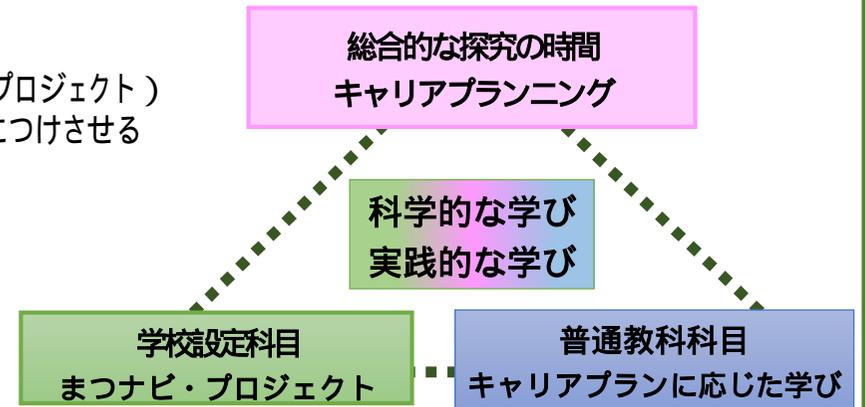
キャリアプランニングに応じた普通教科科目の学びと地域課題解決型学習（まつナビ・プロジェクト）により、社会の変化に対応できる「課題解決能力」と「ふるさとを大切にす姿勢」を身につけさせることで、キャリア形成（希望進路実現）を図る

#### 学校の特色等に応じた学校設定科目「まつナビ・プロジェクト」

- ・第1学年（プレまつナビ）：基礎的知識・技能等の習得、課題研究テーマの設定
- ・第2学年（まつナビ）：校外で課題研究の計画的実施，解決策等を提言
- ・第3学年（ポストまつナビ）：個人研究と、地元小中学生に研究成果を報告  
（研究テーマ例：「空き家を利用して便利で賑やかな町にしよう」、  
「タータン×松浦の魅力」、「農業っていいね!!」）

#### <従来の普通科との違い>

- ・普通教育に基盤を置きながら、地域社会の諸課題に積極的に関わり、「課題発見力」「論理的思考力」「コミュニケーション力」などの資質・能力を育成するための「科学的な学び」「実践的な学び」に重点を置く
- ・総合的な探究の時間及び学校設定教科・科目において、社会的課題や地域が有する魅力と自分との関わりについて領域横断的に学習

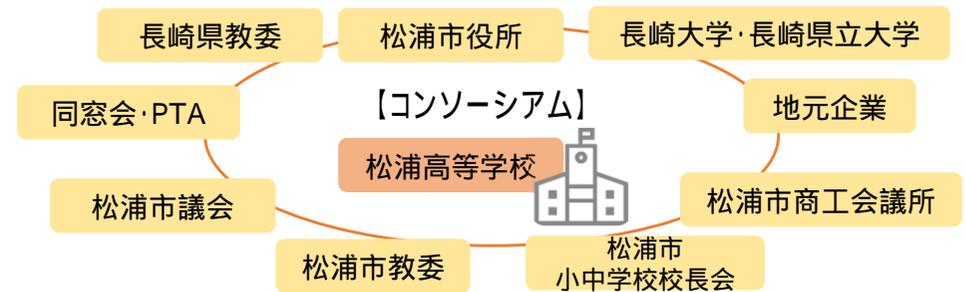


令和2年度  
課題研究  
『農業って  
いいね!!』

### 地域との連携体制

#### 高校生と課題解決のマッチングを効果的に行うためのコンソーシアムを構築

- ・地域との協働による活動を学校の教育活動に明確化
- ・専門人材の配置等、校内体制の構築
- ・学校と地域をつなぐコーディネーターを指定
- ・将来の地域ビジョン・求める人材像を共有し、地域協働に資する学習カリキュラムを開発 等



## 資料4 探究型学習に協働的に取り組む専門学科の事例：文理探究科の設置（県立高校5校）

### 文理探究科（新学科）の概要

予測不能な社会の変化に対して、今後新たに生じる課題に主体的に取り組み、他者と協力して解決する力、科学的思考力や国際性を身に付け、ふるさと長崎や世界の未来を拓くリーダーの育成を図るため、新たな大学入試に対応した高い進路目標の実現を目指し、各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な探究型学習に協働的に取り組む専門学科の導入を進める。

### 文理探究科のねらい

#### ふるさと長崎や世界の未来を拓くリーダーの育成

予測不能で変化の激しい社会に対して、自ら新しい知識を求めて学び、困難に果敢に挑戦する姿勢・態度、他者と協力して解決する力、科学的思考力や国際性を身に付けた人材を育てます。

#### 高い進路目標の実現（大学進学重点学科）

総合型選抜制度の拡大や大学入学共通テストへの変更など、新たな大学入試に対応するため、理系・文系を問わず、多彩な学問分野を学ぶ大学への進学に必要な学力を育みます。

### 新学科設置校 （令和5年度導入）

長崎北陽台高等学校  
佐世保南高等学校  
島原高等学校  
大村高等学校  
猶興館高等学校

### 文理探究科の特色

#### 探究型学習の充実

実社会での問題発見・解決に生かしていくため、高等教育機関（大学など）、国際機関、国の機関、企業、NPO法人等と連携・協働し、教科横断的な探究型学習を充実させます。

#### 探究型学習を支える発展的な教科学力の養成

学習内容をさらに掘り下げ、より発展的な専門教科「理数」「英語」の科目や、学校が独自に設定する科目などにより、より発展的な教科学力を養成します。

#### 文理探究科独自の特色ある教育プログラムの実施

幅広い教養や豊かな人間性を持ち、知的総合力を備えたグローバル・リーダーを育成するため、体験的な学びや発表機会など、独自の特色ある教育プログラムを実施します。



1年次（探究活動の基礎定着）

2・3年次（探究活動の成果活用・発信）

特色ある教育プログラム

文理探究科

理数探究科

主に自然科学分野で自ら発見した課題について、科学的視点から探究的に学習  
専門教科「理数」の科目を中心に深く学習

教科横断的な探究型学習

国際探究科

主に人文社会科学分野で自ら発見した課題について、グローバルな視点から探究的に学習  
専門教科「英語」等や学校設定科目により深く学習

- 課題研究発表
- 大学・企業研修
- 各種コンテスト参加
- 合同研究発表会の実施
- ICTを活用した県外・海外の高校・大学・研究機関との交流
- 海外研修 など